

しずおか タイムトラベル

～縄文時代から奈良・平安時代をたどる～



2024年6月8日(土)～9月1日(日)

開館時間 | 9:00-16:30

休館日 | 月曜日、祝日の翌日

観覧料 | 一般 300円、高校・大学生 200円、小中学生 50円

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目10番5号

Tel. 054-285-0476

<https://www.shizuoka-toromuseum.jp/>



静岡市立登呂博物館

しずおかタイムトラベル
～縄文時代から
奈良・平安時代をたどる～

この展示では、学校で歴史を学びはじめる生徒のみなさんをはじめ一般の皆様に向けて、教科書で学ぶ内容を静岡市という場所に置き換えて掘り下げます。静岡市内の遺跡から発見された出土品を紹介し、原始・古代（縄文時代～奈良・平安時代）を中心に、静岡市の歴史をたどっていきます。

当時の人々は静岡でどんな暮らしを営んでいたのでしょうか？この夏、大昔の静岡を旅してみませんか

① 縄文時代

豊かな自然の中で、狩りや木の実の採集などをして食べ物を手に入れていた時代です。清水天王山遺跡（清水区宮加三）や阿僧遺跡（清水区由比阿僧）、割田原遺跡（葵区井川）などで見つかった縄文土器や石器などを展示します。

② 弥生時代

大陸から伝わった米づくりが広まった時代です。登呂遺跡が有名ですが、そのほかにも遺跡が見つかっています。米づくりで使う農具や、石器から鉄器へと道具が変化していく様子を展示します。

③ 古墳時代

クニを治める首長によって、古墳という大きなお墓が造られた時代です。権力者の墓である古墳には、豪華な副葬品が納められていました。静岡の古墳とその副葬品を展示します。

④ 奈良・平安時代

天皇を中心とした国となり、都と地方を結ぶ道や、役所である国衙や郡衙が設置されるなど国を治めるしくみが整えられた時代です。また、朝鮮半島からは仏教が伝えられ、静岡にも寺院が造られました。古代の役所や寺院跡で使われていた品を展示します。

関連事業

1 講座①「発掘調査員が語る
～おおむかしの静岡に触れてみよう～」(全3回)

静岡市で発掘調査を担当している学芸員が、それぞれの時代の移り変わりについて話をします。講座では、実際に出土した土器などを触れます。

- ◎期間 | ①令和6年7月6日(土) 縄文時代から弥生時代
②令和6年7月20日(土) 弥生時代から古墳時代
③令和6年8月3日(土) 古墳時代から奈良・平安時代
※各11時～12時

- ◎場所 | 登呂博物館1F交流ホール
◎定員 | 60人程度
◎対象 | 小学4年生から中学3年生(一般の方も参加可能)
◎申込 | なし 当日直接会場へ

2 講座②「こども学芸員養成講座
～遺物が展示物になるまで～」(全3回)

この講座では、これまで静岡市内の遺跡から発見された出土品がどのような手順を経て展示されるのかを知ってもらいます。発掘調査体験や展示をつくってもらいます。

- ◎期間 | ①令和6年7月6日(土) 発掘調査の体験
②令和6年7月20日(土) 博物館の裏側見学など
③令和6年8月3日(土) 展示作成の体験
※各11時～15時(講座①の聴講を含みます)

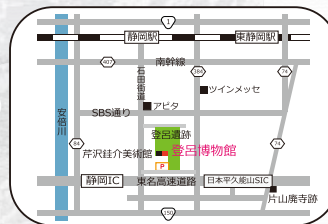
- ◎場所 | 登呂博物館1F交流ホール
◎定員 | 15人程度(保護者同伴可)
◎対象 | 小学4年生から中学3年生
◎申込 | 事前申込6月11日(火)9:00～受付開始
054-285-0476へ電話申込

展示解説

当展示の魅力や見どころを解説します。

◎日時 | 令和6年6月16日(日)、7月14日(日)、
8月11日(日) 11:00～、14:00～(各30分)

- ◎受付 | 当日直接会場へ
◎場所 | 登呂博物館 2階 特別・企画展示室
◎料金 | 無料(要観覧料)



◀バス▶ JR静岡駅南口22番乗り場から石田街道線「登呂遺跡」行き(10分)終点下車

◀車▶ 東名静岡ICから約10分
東名日本平久能山スマートICから約10分
遺跡南側に有料駐車場50台有り
(普通車1台400円)



表面写真(文字盤の12から時計回りに)

- ①①縄文土器(阿僧遺跡) ②黒曜石(左:冷川遺跡、右:阿僧遺跡) ③壺型土器(登呂遺跡) ④壺型土器(登呂遺跡)
⑤台付甕形土器(登呂遺跡) ⑥三角縁神獸鏡(午王堂山3号墳) ⑦馬鈴(神明山4号墳) ⑧甌(下夕村遺跡)
⑨鬼瓦(片山廃寺跡) ⑩人形(ケイセイ遺跡) ⑪円面硯(ケイセイ遺跡) / 静岡市教育委員会 蔵